

## 平成30年第14回教育委員会会議録

日 時 平成30年12月27日（木）午後2時30分 開議  
場 所 尾道市教育会館2階 会議室  
署名委員 奥田委員

午後2時30分 開会

○佐藤教育長 定刻になりましたので、ただいまから第14回教育委員会定例会を開きます。

本日の会議日程は、お手元に印刷配付のとおりです。

本日の会議録署名委員は、奥田委員を指名いたします。

これより日程に入ります。

日程第1、業務報告及び行事予定を議題といたします。

業務報告及び行事予定のうち、重要な項目がありましたら、順次報告をお願いいたします。

○川齋庶務課長 教育長、庶務課長。庶務課にかかわります業務報告及び行事予定の報告をさせていただきます。議案集の1ページをごらんください。

業務報告でございます。12月市議会が12月3日に開会をいたしました。ここに記載のとおり、18日火曜日に閉会をしております。特に文教委員会関係におきまして学校選択制、エアコンの設置、ICT教育環境の整備、マンモス小学校のあり方等々について議論をいただいております。

行事予定でございます。12月28日、仕事納め式、1月4日、仕事始め式になります。1月23日は広島県市町教育長会議、同日、平成30年度市町村教育委員研究協議会。これは奥田委員さんに御出席をいただきます。1月の教育委員会会議は、1月31日を予定をしております。以上でございます。

○安藤主幹（学校施設整備担当） 教育長、学校施設整備担当主幹。学校施設整備に関する業務報告及び行事予定について説明をさせていただきます。

まず、業務報告です。12月10日から18日にかけて、土堂小学校校舎耐震対策検討状況を土堂小学校育友会正副役員、土堂地区社会福祉協議会役員、土堂小学校学校運営協議会委員の方々に説明をさせていただきました。年が明けましたら、土堂小学校育友会全員への説明会等を開催したいと考えております。いろいろな御意見等をいただく中で今後、土堂小学校の耐震化について判断していきたいと考えております。

次に、12月14日に小中学校空調設備等整備業務（設計・施工業務）委託の入札を行いました。この入札によりまして都市ガスを熱源とするガスヒートポンプ方式の業者が決まり、仮契約を締結したところであります。今後、2月の市議会の定例会において工事請負契約の締結についての議会で議決をいただいた後、着手の予定であります。あす、12月28日に小中学校のブロック塀の緊急修繕としまして、小学校6校、中学校1校のブロック塀の撤去等に向けた入札を行う予定であります。

次に、行事予定です。下から2つ目になりますけれども、向島中学校の校舎の管理教室棟改築工事建築主体については、12月13日に入札が行われまして、同じく2月の市議会定例会において工事請負契約の締結についての議会での議決を経て、工事着手の予定であります。

また、年明け1月10日に小中学校屋内運動場の照明器具あるいはバスケットゴール等のいわゆる非構造部材の耐震対策に向けた設計業務委託の入札を行う予定であります。行事予定については以上です。

○**内海生涯学習課長** 教育長、生涯学習課長。生涯学習課の業務報告並びに行事予定を御報告いたします。3ページをごらんください。

まず、業務報告でございますが、12月1日に、福山市役所においてパラグアイ共和国オリンピックチームの事前合宿の覚書署名式を行っております。これについて少し御説明をしますけれども、現在、尾道市は、広島県が受け入れを行っておりますメキシコ共和国との直前合宿と事前合宿について既に受け入れております。この競技は自転車とソフトボールでございますけれども、今回の協定は南米のパラグアイ共和国との覚書ということで、備後圏域、福山市を中心といたしまして尾道市、福山市、府中市、神石高原町の3市1町で直前合宿の受け入れについて覚書を締結したものでございます。2020年東京オリンピック・パラリンピックの本当に直前に来られることとなります。尾道市で受け入れを行います競技につきましては、びんご運動公園で陸上とテニスの2競技を受け入れるというお約束をしております。ただ、選手は大体1競技1人から2人ということになりますので、陸上とテニスの全員が来ても選手については大体二、三人程度、それから競技関係者が10人程度来るかなということでございます。基本的には既存の施設を使っただけということで、余りこちらの費用負担はなく受け入れをさせていただければと考えております。今後、費用負担面や使用する施設についての合意を図っていくこととしております。

次に、行事予定についてです。1月13日に平成31年の尾道市成人式をびんご運動公園で行います。1時半からの開始となっておりますので、御参加をよろ

しくお願いいたします。

続きまして、図書館について指定管理者から報告のあった事業の報告をいたします。4ページをごらんください。中央図書館の業務報告につきましては、11月24日から12月1日に第3回目のぬいぐるみおとまり会を行いました。参加者は4名でございます。行事予定につきましては、記載のとおりです。

続いて、5ページです。みつぎ子ども図書館の業務報告につきましては、12月1日にコープチベアー・ジュニアコンサートを行いました。これは市公民館で練習している小学生の合唱グループでございますが、67人の参加をいただいております。また、12月16日にミュージックベル・クリスマスコンサートを行い、125人の参加をいただきました。行事予定につきましては、1月13日に如水館中学校、高校の学生によるニューイヤーコンサートを行う予定としております。

次に、6ページです。瀬戸田図書館の業務報告につきましては、記載のとおりでございます。行事予定につきましては、1月19日に吉田路子さんの語りの会。ピアノ、ギター演奏とともに宮沢賢治の朗読を行います。

次に、7ページをお願いします。因島図書館の業務報告につきましては、12月9日に「天明天保の飢饉 尾道もざわついた。」と題した講演会を行い、19人の参加をいただいております。また、12月24日に小説「エンジェルボール」の作者飛騨俊吾さんによる講演会を行い、50人の参加をいただいております。行事予定につきましては、1月23日に第6回子育て支援行事「絵本と楽しい子育て」。紙芝居やエプロンシアターなどの実演を行います。

続きまして、8ページをお願いします。向島子ども図書館の業務報告につきましては、12月23日にわくわくクリスマスフェスタを行い、93人の参加をいただいております。行事予定につきましては、記載のとおりです。

なお、1月29日から2月1日までを特別整理期間による休館としております。以上でございます。

○加來因島瀬戸田地域教育課長 教育長、因島瀬戸田地域教育課長。因島瀬戸田地域教育課の業務報告並びに行事予定を御報告いたします。9ページをごらんください。

業務報告につきましては、記載のとおりでございます。管内の小中学校空調設備整備の進捗状況ですが、以前お話ししましたように因北小学校の整備は完了してございまして、因北中学校、瀬戸田小学校につきましては設計業務が完了して、この12月10日から工事に入っております。行事予定につきましては、記載のとおりでございます。以上でございます。

○村上美術館副館長 教育長、美術館副館長。美術館の業務報告並びに行事予定を尾道市立美術館から順次報告します。10ページをごらんください。

最初に、尾道市立美術館について御説明します。業務報告につきまして、12月1日から翌年の1月20日まで企画展「尾道市立美術館コレクション展Ⅱ」としまして「文人画家 楠瓊州」を開催しております。この関連行事として、12月16日に当館学芸員によるギャラリートークを行いました。

また、11月23日から25日の3日間、千光寺公園入り口にありますかおり館におきまして第18回絵のまち尾道四季展の作品搬入を行いました。出品者数は427人、出品点数は519点でした。出品範囲の比率では県外からが5割を超え、33都道府県から出品がございました。そして、その受け付けた作品の審査を同じくかおり館におきまして12月8日及び9日の2日間にわたり行いました。1日目の審査説明会の席で審査委員長には順天堂大学客員教授で日本画家の平松礼二先生が選出され、このほか美術評論家石川健次先生、地元尾道市立大学名誉教授奥山民枝先生、美術評論家の島田康寛先生、日本芸術院会員で洋画家の藤森兼明先生といった美術各界の名立たる先生方による審査会となりました。1日目で入選作以上の約250点が決定し、続いて2日目に上位秀作40点と入賞作品23点が選ばれました。尾道市内からは尾道美術協会奨励賞を受賞された方がおられました。

行事予定でございますが、12月11日から翌年の1月19日まで第12回平山郁夫美術館賞絵画コンクール作品展示を行います。この作品展示は、平山先生が生前、豊かな感性を育ててくれるのは見る、読む、描くという実践しかないとおっしゃっていた考えを継承するための絵画コンクールで、今回は2,793点の応募がありました。そこで入賞した大賞3点、優秀賞30点、しまなみ特別賞3点の計36点を2階ロビーに展示します。今後は尾道市立中央図書館において翌年の1月22日から2月7日まで展示を行います。

圓鑄勝三彫刻美術館、平山郁夫美術館におきましては、記載のとおりでございます。以上です。

○小柳学校経営企画課長 教育長、学校経営企画課長。学校経営企画課に係る業務報告並びに行事予定について御報告いたします。11ページをごらんください。

まず、業務報告についてですが、11月29日に臨時校長会議を行いました。12月10日から12月26日まで5日間、人事異動に係る所属長ヒアリングを東部教育事務所と合同で行いました。12月20日に県教育委員会平川理恵教育長が土堂小学校を訪問されました。全学級の授業、国語、算数、モジュール、5年生に

よる土堂っ子太鼓等、教育活動の一端を見ていただいたところです。そのほかは記載のとおりでございます。

続いて、行事予定についてですが、1月8日、尾道市小中学校校長会議を行います。1月15日、尾道市小中学校学校経営サブリーダー研修会を行います。

1月31日、尾道市小中学校教務主任研修会を行います。県立教育センター平木裕副所長にお越しいただき、「学びの変革のさらなる推進に向けて」と題して講話をしていただきます。そのほかは記載のとおりでございます。以上です。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。教育指導課に係る業務報告並びに行事予定について御説明申し上げます。12ページをごらんください。

初めに、業務報告の追加と行事予定の修正をお願いいたします。まず、業務報告でございますが、12月25日に第9回尾道市教育相談連絡協議会の追加をお願いいたします。これにあわせまして、行事予定が1月29日の第9回尾道市教育相談連絡協議会を第10回に修正をお願いいたします。申しわけございません。

それでは、業務報告についてですが、12月1日から3日にかけて、小中学校芸術祭、図画美術書写コンクールの作品展示を尾道市民会館で行いました。いずれの部門においても質の高い児童生徒の作品が数多く展示され、多くの方に御来場いただき、大変よい評価をいただくことができました。

12月10日、学校選択制度の抽選会を行いました。これについては、後ほどの報告で詳しく説明いたします。

12月10日から14日にかけて、因島・瀬戸田地区の児童生徒を対象にした体験適応指導教室を実施いたしました。前回の定例会においてこのたび報告を求められておりますので、後ほど報告をさせていただきます。

12月18日、市の学力定着実態調査を小学校1年生から4年生を対象に行いました。1年生から3年生までは国語と算数と質問紙調査、4年生は国語、算数、理科、社会の4教科と質問紙調査を実施いたしました。調査結果は2月の初めには各学校に届くようになっておりますので、その結果を踏まえて、その学年が終わるまでにつけるべき力を確実に身につけさせて進級させるよう取り組む予定です。

12月22日、中学校リーダー研修会を実施いたしました。例年8月中に1回目を実施し、本来この時期は2回目の実施となる予定でございますが、今年度は豪雨災害によりこのたびが1回目となりました。しかし、その間各学校において取組を継続させてきたことについて、現3年生の旧生徒会役員と2年生の新生徒会役員が一堂に集まり、各学校の生徒会が中心となって取り組んできたこ

との発表や今後各学校の生徒会やリーダー研修会で行いたい活動、あるいは次期リーダーに期待することなどについて交流をいたしました。

続いて、行事予定についてでございますが、記載のとおりです。以上です。

○佐藤教育長 ありがとうございます。ただいまの報告について御意見、御質問ございますでしょうか。

○中田委員 美術館の報告に関しましては、展覧会以外の業務内容などについて早速記載していただきましてありがとうございます。社会教育施設としてのさまざまな取組や他館や他団体との協働の取組もあるかと思いますので、引き続きお伝えいただきますようよろしくお願いいたします。

○佐藤教育長 ほかにございませんか。

○村上委員 因島瀬戸田地域教育課の業務報告と予定について、この空調設備定例会議というものはどのようなものなのか、わかれば教えてください。

○加來因島瀬戸田地域教育課長 教育長、因島瀬戸田地域教育課長。これにつきましては、庶務課と連携して会議を持たせていただいております。電気方式として現在進行中の工事についての打ち合わせを工事業者であります中電工、工事監理を委託しております小西建築設計事務所との打ち合わせを行い、工事がスムーズにいくようにこの定例会議を行っております。

○村上委員 わかりました。

○佐藤教育長 ほかにございませんか。

○奥田委員 3ページの生涯学習課の報告ですが、12月16日と25日にナゼなに新聞社というものを開催しておられます。これは新しい試みのように思いますが、何人ぐらいが参加して、どういう形式でどういうことを狙いとされたのかをお伺いしたいと思います。

○内海生涯学習課長 教育長、生涯学習課長。これは2回シリーズで新聞の読み方と、その地域で活躍されている方と実際にお話をして自分で新聞をつくってみようという試みで、行ったものでございます。1つには読書などにつながる、自分で考える力につながるといったことを目的に小学生を対象に行いました。講師は2回とも違うのですが、中国新聞社の記者の方を実際にお招きして行いました。

ただ、残念なことに参加が11人という結果で、本当はもう少し来てほしかったのですが、2回ということと、冬休みが近いという時期のこともあったのかなと思います。非常にいい試みだったのですが、1回だったら行けるのだけと言われた方に1回でもいいから来てくださいとお声がけもしたのですが、参加者は11人でした。参加した子どもからは非常に好評で、いい新聞ができました。

たので、これを掲示したいと思っております。以上でございます。

○**奥田委員** 市内の各小学校に働きかけたということですね。参加者が11人であったということですが、本当に説明いただいたように狙いとしてもおもしろいし、新しい学力観といたしますか、そういうものを先取りしたようないい試みだと思います。せつかくですので、どういう参加体制なら参加しやすくなるのか工夫して継続していただければと思います。以上です。

○**豊田委員** 12ページの教育指導課です。学力調査を実施しておられますが、会社名を教えてください。それから、来年度に広島県の基礎基本のテストを実施されるのかどうか。最後にもう一つ、6年生を対象に全国学力調査を従来どおり行うのかどうか。3点について教えてください。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。市の学力調査でございますが、名前は標準学力調査といい、東京書籍のものを使っております。

来年度の県の基礎基本のテストでございますが、これは今年度と同様に質問紙調査のみを実施し、教科の調査は行わないと聞いております。

それから、全国学力調査ですが、小学校においては6年生を対象に4月18日に行う予定です。教科は国語と算数の2教科を実施する計画としております。以上です。

○**豊田委員** 東京書籍のものを使ってテストをされたようなのですが、これは質問紙もあるのですか。連動することができれば内容項目によっては子供の意識調査にもつながると思うのですが。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。これはアイチェックといいまして、学力調査を実施した4学年全てで質問紙調査を実施しております。学力との相関を見るもので、クラスにおける子供の状況などを質問紙で問うております。以上です。

○**豊田委員** はい、ありがとうございました。

○**佐藤教育長** ほかにございますか。

○**奥田委員** 先ほどの学力調査に関する質問ですが、今年度はこういうことで、来年度の計画も同じでしょうか。小学校1年生から4年生までと、中学校での調査がいつの予定なのか教えていただけますか。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。市の学力調査については、来年度も小学校は1年生から4年生まで同じ時期で同じ教科で計画をしております。中学校についても、今年度と同様に1年生を対象に4月に実施をする計画を立てております。以上です。

○**奥田委員** 中学校3年生は全国の学力調査を行うが、中学校1年から2年まで

の学力の動きが非常にわかりにくいので、そのあたりもきめ細かく生徒の学力の伸びがどうなっているかという観点で考えていただけないかと以前にもお願いしたことがあると思うのですが、継続して考えていただければと思います。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。学校では学力向上授業改善スケジュールを立てておまして、それに基づいて市教委が校長先生方と面談をしております。その中でスケジュールの進捗状況や学力の把握について聞き取りをしておりますので、予定どおり進んでいない場合は一緒に考えて、2年生が抜けないように取り組んでいるところです。

○**奥田委員** 検討をお願いできればと思います。

○**佐藤教育長** 学力調査に関連して聞きます。先ほど小学校1年生から4年生の調査結果は2月の初めぐらいに各学校へ報告が届く。当然市教委との連携もあると思うが、今年の夏のように集中豪雨で時数がどうなるかわからない状況の中、3月末へ向けて、学校と既に調整して実施したのだろうと思うが、時期的なことなどの心配はないのでしょうか。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。実施の時期については前年度の1月から今年は12月に変更しましたので、学校の負担等を校長先生方にお聞きをしましたが、おおむね12月のこの時期でよいとのこと。調査結果が2月に返ってくるのできちんと課題解決に向けて取り組む時間があり、12月の実施はよいという評価をいただいております。

○**佐藤教育長** わかりました。それともう一点。先ほど奥田委員さんから御質問いただいた生涯学習課の12月16日と25日のなぜなに新聞社ですが、これは先月の行事予定に記載していたのですか。せっかくいい行事であるのに事前に学校と連携をしたにもかかわらず2回の累計で11人と聞こえたのですが、それは合っていますか。

○**内海生涯学習課長** 教育長、生涯学習課長。前回の行事予定としてお出ししております。参加者は1回目11人、2回目も11人ということです。

○**佐藤教育長** 学校との連携はどうしたのですか。せっかくのいい取組だから参加していただきやすい環境づくりをどれだけするかということが我々の役割だと思う。そのあたりについてどんな取組をしたのか教えてください。

○**内海生涯学習課長** 教育長、生涯学習課長。これは市民大学講座の一環として行ったものです。文書の出し方としてはチラシを作成しまして、学校に送付文をつけて配布する形をとっております。あとは関連する子供が来るような図書館や公民館などに配布をしております。

○**佐藤教育長** 各学校への協力はチラシを送るだけではなくて、例えば校長会へ



のお知らせなど丁寧な対応も少し考えてもらいたい。市民大学講座であれば、広範囲な中の一つかもわかりませんが、そのあたりは丁寧な対応をお願いしたいと思います。

○内海生涯学習課長 はい。

○佐藤教育長 ほかにございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤教育長 ないようですので、日程第1、業務報告及び行事予定を終わります。

次に、前回の定例会において今月開催された適応指導教室主催の体験活動の参加状況等について質問をしましたが、これについて回答をお願いします。

○豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。初めに因島・瀬戸田地区の児童生徒を対象にした適応指導教室を体験的に開催するに至った経緯について御説明いたします。

今年度、市P連や因島・瀬戸田地区の中学校から因島・瀬戸田地区にも適応指導教室を設置をしてほしいという要望が上がったことと、市教委としても不登校傾向の児童生徒への対応が喫緊の課題であるということから、具体的なニーズを把握する必要があり、まずは体験的に実施をするということで行いました。期間は、12月10日から14日の5日間。いずれも時間は9時半から12時まで。場所は、因島総合福祉保健センター、旧田熊中学校で、通称はささく交流館と呼ばれてるところで行いました。千光寺の適応指導教室から相談員が毎日交代で1名、それから指導主事も最低1名が参加をして5日間実施をいたしました。

この体験適応指導教室には瀬戸田小学校から2名の児童が5日間とも参加をし、勉強はもちろんですが、人間関係づくりゲームやクッキングなどの活動を意欲的に行っておりまして。参加をした2人の子供たちは日ごろは学校に通えていなかったということもあり、大変楽しそうに活動しておりまして、保護者の方もそういった子供たちの様子を見て喜んでおられました。この体験適応指導教室後の12月18日に行いました第3回適応指導教室自然体験活動にもこの2人の児童がともに参加をするなどの効果は見られたと思っております。

課題としては、保護者の方もアンケートに書いておられましたが、たとえ因島に設置をするということになっても瀬戸田から毎日来ると橋代の負担は大きいということがまずあるかと思えます。それから、このたびは因島地区からの参加がなかったということも課題として捉えているところです。状況については以上でございます。

- 佐藤教育長 教育委員会事務局としてこの体験活動の参加状況を含めて、今回来られた2人については成果があったと理解できるけれども、不登校児童総体に占める子供たちの参加状況をどのように把握して、今後、どのように取り組もうとするのか。やめるのか。その辺の方向性等について考え方があれば説明してもらえますか。
- 豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。事前に該当する因島・瀬戸田地区の小中学校8校を回って、名前も確認しながら通う可能性のある子供たちは9名と聞いておりましたが、実際には2名の参加でございました。参加すればそれなりの成果はあると思うのですが、来なければ子供への対応ができませんので、今後についてですけど、今回来ていなかった学校については状況を聞きながら、ニーズが確実に把握できるようならば3学期にもう一度体験適応教室を実施してみたいと思っております。来年度については、こういった体験活動の状況を踏まえて、毎日の開設なのか、あるいは週に何日か、あるいはもう開設は難しいのかということをごこういった状況を見ながら判断してまいりたいと思っております。
- 佐藤教育長 聞きたかったのは、ニーズがあるのかないのか。それをどのように事務局は把握をしているのかということを知りたいだけ。
- 豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。ニーズをどういう捉えでお答えすればいいのか迷うのですが、声は上がっています。参加するという子供さんの名前も実際に聞いています。12月ではニーズがあるという判断で体験適応教室を開催しました。しかし、実際には参加が少なかった。だからニーズがないという判断はなかなか難しいと思います。
- 佐藤教育長 今後、市教委がこの児童に対してどう取り組むかわかりませんが、これは中間の手段で、最後には適応指導教室を経由して学校へ戻ることがその児童や保護者の方にとっては一番いいことです。この体験活動に適応指導教室の相談員と市教委の主事は最低でも1人いたとのことですが、学校関係者の参加はあったのでしょうか。
- 豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。学校からの参加は、参加した瀬戸田小学校から校長先生に来ていただきました。あとは校区内にある因島南小学校からは、校長先生、教頭先生と生徒指導主事の3名、因島南中学校からも教頭先生が参加をして様子を見ていただいております。
- 佐藤教育長 市教委からも各学校へもっともっとPRをして、参加について打診をしてください。以上です。
- ほかによろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤教育長 それでは、日程第2、議案の審査に入ります。

議案第56号尾道市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱等についてを議題といたします。

提案理由の説明をお願いします。

○豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。議案第56号尾道市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱等について説明をいたします。

13ページをごらんください。本議案は、尾道市いじめ問題対策連絡協議会委員の任期満了に伴い、14ページにございます11名の委員の委嘱及び任命を行おうとするものです。委員の委嘱期間は、平成31年1月1日から平成32年12月31日までの2年間でございます。これまでと同様、11名の委員全員が継続して委嘱及び任命となっております。

また、男女比と平均年齢につきましては、男性が9名、女性が2名、平均年齢が53.7歳となっており、前回と比べ、男女比は同じで平均年齢が0.8歳ほど上がっております。委員における男女比の偏りについては継続課題であると捉えております。委員は、警察署、法務局、PTA連合会や小・中学校教育研究会生徒指導部会等から選出していただいております。各組織における全体の男女比については偏りがありますが、女性委員の増員については、現在市全体でも進めていることにより、今後各機関への働きにより増えるよう努力してまいりたいと思います。以上、御審議の上、御承認いただきますようよろしくお願いいたします。

○佐藤教育長 ただいまの説明に対して御意見、御質問ございますでしょうか。

○中田委員 皆さん継続ということなのですが、この2年間で会議を実施された回数ですとか内容、持ち越しの課題など、差しさわりのない範囲で教えていただけますでしょうか。

○豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。まず、回数でございますが、平成28年度は2回、昨年度、平成29年度は3回の開催でございました。今年度も学期に1回で合計3回の予定でございましたが、1回目は8月ごろを予定していましたが、豪雨災害により開催できませんでした。そのため今年度は2回を計画しております。それから、内容でございますが、具体的な意見としては、いじめ問題を長期化させないためにも早期対応が大切であって、積極的認知をして早期対応に努める。そのことがいじめの解消につながる。それから、日ごろからの人間関係が大事だろうということが早期対応として出ております。それと、正確な事実確認等、記録の管理が重要だということで、いつどんな対応を

したのか、取り組んだのかということの丁寧な記録が必要ということと、児童生徒に寄り添うということは、思いを受けとめるということはもちろんだけれども、やはりどうしたら本人の思いや悩みを解決できるか、そういった方向性を幾らか示してやる必要があるではないかという意見をいただいております。

○中田委員 わかりました。

○佐藤教育長 この協議会は連絡調整で、具体的に一つのいじめ事案を解決するというものではないということですね。

○豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。はい、そうです。

○佐藤教育長 ほかにございませんか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤教育長 それでは、ないようですので、これより議案第56号を採決いたします。

本案は原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤教育長 御異議なしと認め、本案は全会一致で原案のとおり承認されることに決しました。

次に、議案第57号尾道市いじめ防止対策委員会委員の委嘱についてを議題といたします。

提案理由の説明をお願いします。

○豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。議案第57号尾道市いじめ防止対策委員会委員の委嘱について説明をいたします。

15ページをお開きください。本議案は、尾道市いじめ防止対策委員会委員の委嘱期間の満期に伴い、16ページに記載しております4名の委員の委嘱を行おうとするものです。いじめ防止対策委員会は、第三者という立場から中立性を担保するため、市の基本方針に基づき、弁護士会、医師会、大学、心理士会の各団体への推薦を依頼し、その結果4名の委員で構成されております。委員の委嘱期間は、番号1の2、3の弁護士、医師、学識経験者の3名の委員が平成31年1月1日から平成32年12月31日まで、番号4番の心理の専門家1名の委員が平成31年1月25日から平成33年1月24日まででございます。なお、今回においても各団体等からこの4名の方については引き続き推薦をいただいていることを御報告しておきます。

また、男女比と平均年齢については、男性3名、女性1名、平均年齢は50.8歳となっております。委員の男女比については先ほど申し上げたとおりで、継続課題であると捉えております。以上、御審議の上、御承認いただきま

すようよろしくお願いいたします。

- 佐藤教育長 それでは、御質問、御意見ございますでしょうか。
- 村上委員 質問ではないのですが、4番の西村先生の風邪の通り道はこのかぜでよいのでしょうか。
- 豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。済いません。これは間違いです。
- 中田委員 あと、区分も違いますね。
- 豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。済いません。区分は1でなく4です。かぜは漢字1文字です。申しわけありません。訂正をお願いします。
- 佐藤教育長 任期が違うのは何か理由があったのですか。
- 豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。任期が違うのは区分4の心理士さんですが、これは前任の方がこの1月の末で交代しましたので、その方に引き続いて1月25日からとしております。
- 杉原学校教育部長 前任者からの引き継ぎなら、継続ではないが。
- 豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。西村先生は継続で、現在の任期が1月24日までとなっています。
- 佐藤教育長 西村先生は29年1月25日から31年1月24日までの任期で、継続ということよろしいですか。
- 豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。はい、そうです。
- 奥田委員 そういう状況であれば、2期目に入られたわけですから、皆さんと同じように1月1日からとすればよいのでは。途中で変えることは難しいのですか。そろえたほうがすっきりする気もしますが。
- 豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。西村先生の任期が31年1月24日までですので、それ以降の任期としました。
- 佐藤教育長 2年間の任期をそのまま委嘱したという説明ですね。
- 豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。はい、そうです。任期が2年ということでしたので、12月31日でそろえられたらよかったのですが。
- 村上委員 一回年末に辞任していただいて就任すればそろうかと思うのですが、ただ継続ではなくて新任になるのか、その表現は何とかなるのではないかと思うのですが。
- 佐藤教育長 今おっしゃっていただいたように、今後はできるだけ任期はそろえるという調整を可能な限りしてみたいと思います。これはこのままでお願いします。
- 豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。今回は、検討します。
- 村上委員 お願いします。

○佐藤教育長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤教育長 ないようですので、これより議案第57号を採択いたします。

本案は、番号で言うと4番の区分を1から4に修正、また風邪の通り道の風邪の字句を修正、一部修正で修正案のとおり承認することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤教育長 本案は全会一致で原案一部修正のとおり承認することに決しました。

次に、議案第58号平成31年度に尾道市立小学校及び中学校の特別支援学級で使用する教科用図書（追加分）の採択についてを議題といたします。

提案理由の説明をお願いします。

○豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。本案の審査につきましては、個人情報を含んでおりますので非公開が適切ではないかと考えますが、いかがでしょうか。

○佐藤教育長 議案第58号について非公開という提案が出ましたが、御意見ございますでしょうか。

よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤教育長 御異議なしと認め、議案第58号は非公開審査といたします。

以上で日程第2、議案の審査を終わります。

次に、日程第3、報告に入ります。

報告第12号平成31年度市立幼稚園園児募集の結果についての報告をお願いします。

○川齋庶務課長 教育長、庶務課長。報告第12号平成31年度市立幼稚園園児募集の結果について御報告をさせていただきます。19ページでございます。平成31年度市立幼稚園の園児募集については、11月15日から11月30日まで園児募集を行いました。その結果でございます。

1番として、閉園、休園の幼稚園がございますので報告をさせていただきます。まず、閉園の幼稚園でございますが、向東幼稚園、これについては向東の認定こども園が来年4月1日から開園しますので、それに伴いまして閉園をさせていただきます。高見幼稚園及び重井幼稚園でございます。これについては、尾道市立幼稚園の閉園等に関する規則第2条第2項の規定によりまして閉園となります。この条項でございますが、19ページの下の方を見ていただき

ます。一番下段に閉園等に関する規則がございます。この規則については、園児募集の期間の終了時において翌年度の園児数が5人に満たない場合はその幼稚園は休園するという条項がございます。あわせて第2条第2項でこの状態で休園が3年継続した場合、当該幼稚園を閉園するものとするという規定がございます。高見幼稚園、重井幼稚園につきましては、3年連続で園児募集の結果5人に満たなかったということがございますので、今年度をもって両園は閉園をさせていただくということになります。したがって、向東、高見、重井幼稚園の3園を閉園することです。あわせて百島幼稚園でございますが、今年度は園児がおりますが、来年度については園児募集の結果、在園児がいなくなるということになりましたので、来年1年間は休園ということになります。したがって、今年度11園の幼稚園が来年度は8園、うち1園の百島幼稚園は休園ということになっております。

2番でございます。平成31年度園児数の見込みについてです。園児募集期間を経まして、結果といたしまして合計215名の園児で来年度8園、うち1園休園ですから、現実には7園体制で運営をさせていただくという結果になりました。引き続き園児数増減の動きはございますので215人が確定した数字ではございませんが、こういった状態でございますということを報告させていただきます。以上でございます。

○佐藤教育長 御意見、御質問はございますでしょうか。

この後の議会等、条例等の関係はどうなりますか。

○川齋庶務課長 教育長、庶務課長。11月30日をもって規則により閉園が決定しました。閉園ということになりますと幼稚園の設置条例の改正が必要になりますので、2月議会において条例改正案の提案をさせていただきます。したがって、その前に教育委員会会議に条例改正に関する意見の申し出の議案を提出させていただいて、3月31日をもって閉園といった動きになります。以上でございます。

○村上委員 百島幼稚園ですが、来年度は休園ということになるのですけれども、休園が3年間続くと、その次に入園しようとしても閉園しているという理解でいいですか。

○川齋庶務課長 教育長、庶務課長。規則でございますが、見ていただきますと第2条の第1項第1号、幼稚園が離島等にあるため園児が他園へ通園することが困難であると認められる場合、これは百島幼稚園が該当ですが、この場合はただし書きがございます。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合はこの限りでないということになります。この1号から4号に該当するケースにつ

いては休園が3年連続しても閉園とはならず、百島幼稚園については仮に3年間休園が続いたとしても閉園にはなりませんということでございます。

○村上委員 この例外規定は第2項にも係るということですね。

○川齋庶務課長 教育長、庶務課長。そうです。第1項の中でこれは例外で閉園にはならないということで御理解いただければと思います。以上です。

○村上委員 わかりました。

○中田委員 2番の表の斜線はゼロということの理解でいいのですか。

○川齋庶務課長 教育長、庶務課長。斜線部分については、そもそも募集がないということです。一番上の栗原幼稚園について見ていただければ、栗原幼稚園は5歳児だけの幼稚園ですので、3歳児、4歳児の園児募集をしていません。ごらんのとおり3年保育をしているのは木ノ庄東幼稚園と百島幼稚園と見ていただければと思います。以上です。

○佐藤教育長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤教育長 次に報告第13号平成31年度学校選択制度による入学予定者数についての報告をお願いします。

○豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。それでは、報告第13号平成31年度学校選択制度による入学予定者数について御報告させていただきます。

20ページをごらんください。来年度入学者を対象とした学校選択制度については、11月12日月曜日から11月21日水曜日まで希望申請期間とし、11月26日月曜日から11月28日水曜日まで変更及び取り下げ期間を設け、申請受け付けをいたしました。申請者数は、小学校は115名、中学校は79名でございました。受け入れ可能人数を超えて希望があった学校は、土堂小学校、向島中央小学校、因北小学校、中学校は長江中学校、向島中学校の2校で、合わせて5校となりましたが、因北小学校については抽選を実施すると決定して公表した後、辞退の申し出がございましたので、実際に抽選会を実施しましたのは因北小学校を除く4校で、12月10日月曜日に抽選会を行いました。抽せんの結果、平成31年度学校選択による入学予定者は、小学校では105名、中学校では70名となっております。なお、抽選で選外となった人は希望により補欠登録をしていただいております。2月末まで繰り上げを待つことができます。繰り上げにならなかった場合は住所により指定された学校へ入学することとなります。以上、学校選択制度の報告とさせていただきます。

○佐藤教育長 ありがとうございます。御意見、御質問はございますでしょうか。



- 豊田委員** 自校よりほかの学校を選択している児童生徒の数が昨年や二、三年前に比べて増えているのか減っているのかわかりますか。
- 豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。手元に資料がございませんので、次回報告させていただきます。
- 豊田委員** お願いします。それともう一つ。先日の市議会で高須小学校の人数が急増して第二小学校をつくらなければならないのではないかと。それは可能かということ議員さんが質問しておられましたけれども、土堂小学校への申請者がたくさんいるのですが、これは高須小学校の学区からの人が多いのでしょうか。例えば高須小学校の児童数が急増していると思うのですけれども、学校選択であちこちへ分散して選んでいけば人数が少なくなるので、小学校をつくるということにはならないので、高須小学校から学校選択で他の学校に行く人数がわかりますか。
- 豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。高須小学校から土堂小学校以外も含めてということですか。
- 豊田委員** 土堂小学校以外も含めてです。
- 豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。土堂小学校以外も含めると例年20名ぐらいは学校選択で他の学校を選択しておられます。私は高須小学校の教頭として3年間おりましたので、そのときには二、三十人は違う学校へ行っております。
- 佐藤教育長** 高須の小学校区から他の学校へ行っている児童ということですか。
- 豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。私立も公立も含めてということですか。
- 豊田委員** わかりました。ありがとうございました。
- 村上委員** その二、三十人というのは割合的には他校よりも高いのですか、低いのですか。
- 豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。高須小学校が特別飛び抜けて割合が高いということはないと思います。
- 佐藤教育長** 今、正しい数字がない中で予測を言ってもいけないので、教育指導課に資料があれば次回に議論をさせてもらうことはどうですか。
- 豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。資料はありますので、それを整理してまた御報告をさせていただきます。
- 佐藤教育長** そういうことでよろしいでしょうか。
- 村上委員** わかりました。

○佐藤教育長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤教育長 以上で日程第3、報告を終わります。

それでは、これより非公開審査に入りますが、その前にその他の項目として議案とかそれ以外、何でも結構ですので委員さんから何か御意見とか御質問があれば承りたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤教育長 それでは、先ほど決定したとおり、これより非公開となりますので、関係者以外の方は退席をお願いします。

暫時休憩します。

午後3時40分 休憩

午後 3 時43分 再開

議案第58号「平成31年度に尾道市立小学校及び中学校の特別支援学級で使用する教科用図書（追加分）の採択について」

(非公開審査)

○佐藤教育長 以上をもって本日の日程は終了しました。

これをもって本日の会議を散会すると同時に、第14回教育委員会定例会を閉会いたします。

次回の定例教育委員会は1月31日木曜日午後2時半からを予定しております。

お疲れさまでした。ありがとうございました。

午後4時0分 閉会